

# 農繁期

## レポート

令和元年 8月号

# 栄ファーム

オーナー  
水田面積  
保証量  
形態品種

栄運輸工業株式会社  
18.4アール  
玄米828kg  
特別栽培コシヒカリ



## 生産者

三上惇二さん



8月初旬は先月の涼しさを忘れるほど気温が一気に上がりました。暑さは例年のごとお盆までで落ち着き稲穂も元気に育っています。カメムシの防除を行いました。それまでに田んぼのそばのケタ草を刈り、カメムシが稲に入りにくいようにしてからの防除でより効果的にできたかなと思います。今の穂と稲の葉の色から9月10日くらいから徐々に稲刈りを始めようかと考えています。

### 1. カメムシ防除 2. 最後の草刈り

全ての稲が出穂し、開花と受粉が行われ登熟期に入りました。お米の形は長さ⇒幅⇒厚みの順番で決まります。8月はお米が形作られる大切な時期であり、水の管理が食味・品質・収量に影響が出るため非常に重要です。水を入れたり止めたりを数日毎に繰り返し、適度な酸素供給と根に力を持たせ、倒伏しないようにします。また高温の年は天敵のカメムシの発生が目立ちます。この虫はお米が柔らかい水分状態のときに汁を吸って、お米を黒く変色させます。黒いお米は機械に通したときに全て弾き飛ばされ出荷できないため、防除作業を行います。さらに田んぼ周辺で伸びた雑草はカメムシを発生させ、日当たりや風通しが悪くなって稲の病気の原因にもなるので、1つの田んぼ当たり3-4回の草刈りが必要になります。

### 8月の作業と稲

<初旬の草刈り>



<カメムシ防除>



<電柵補修（猪対策）>



<8月末頃の稲>

